

# 未だ終わらない沖縄戦

## 関西・沖縄戦を考える会 第5回学習会



PTSDは衝撃的な経験が心に刻まれ、それが引き金になって起こる。

沖縄戦を経験し生き延びた人たちは戦後、PTSDを心の底に沈めた。一見すると、元気に生活しているように見える体験者も何かのきっかけで発症することがある。

PTSD不眠・いら立

高齢者の戦終わら

## 終戦67年目の調査から

「沖縄戦・精神保健研究会」代表 元沖縄県立看護大教授

講師 **當山富士子さん**

沖縄戦体験者のトラウマについての調査結果が今年6月に公表されました。それは、沖縄戦を体験した高齢者の4割が深刻な心の傷を抱え、心的外傷後ストレス障害（PTSD）を発症したり今後発症する可能性があるというもの。戦争の記憶とともに、生活と隣り合わせにある米軍基地の存在も体験者を苛んでいることが明らかになりました。次回学習会は調査にあたった當山富士子さんを沖縄からお招きします。ぜひご参加下さい。



とき **10月18日** (金) 午後6時半～

ところ **エルおおさか** (地下鉄谷町線・京阪「天満橋駅」徒歩5分)

参加費 **1000円**

主催/問合せ 関西・沖縄戦を考える会 TEL06・6375・5561 (新聞うずみ火)